

通 告 順	議席番号	通 告 者
1	1 0	木 村 満

1 津波注意報時の対応について

令和3年3月20日発生地震に伴い避難指示が出された。荒浜地区の津波災害時の避難場所が逢隈小学校などが指定されており、車での避難も選択肢に入っているが原則徒歩避難としているが、町の対応について下記の点を質問する。

- (1) 車で避難した際、県道亘理塩釜線と荒浜大通り線との交差点で渋滞になり避難困難であったと報告を受けているが町の考えは。
- (2) 安心・安全メールにて避難所閉鎖の知らせは来たが開設の知らせは来ていないが、開設時にもお知らせしては。
- (3) 避難所開設の案内を避難指示と同時に行っては。
- (4) 消防団等の詰め所等になっている防災拠点は電子錠を活用しては。

通 告 順	議席番号	通 告 者
2	1 1	森 義 洋

1 給食センターの運営と、緊急時の教育総務課と子ども未来課の連携について

- (1) 5/13に起きた、給食センターの衛生管理の問題による給食提供ができなかった件について、どのような経緯順序で提供をしない判断をしたのか。学校にはどんな指示をだしたのか。
- (2) 直ぐに迎えにこれず、待機時間が長くなることも想定されるが、児童への食事の提供は考えなかったのか。
- (3) その日提供するはずだった、給食センターで調理する以外の食品はどうしたのか。
- (4) 保護者からの問い合わせは、学校や教育委員会にあったのか。その場合、問い合わせの内容はどんなものが多かったのか。また、校長会ではどのような議論がされたのか。
- (5) 防犯上の理由から、給食の提供をせず、直ぐに下校となる場合もある、その時の対応はどの様に考えているのか。また、今回の事態を踏まえ、緊急事態マニュアルを整備する必要があると考えるが、どの様に考えて

いるのか。

- (6) 5/13 の件で、児童館の利用ができないという情報が流れたが、その後開所したとも聞いているが教育総務課と子ども未来課の連携はどうだったのか。

2 町内の給食施設の衛生管理について

- (1) 給食施設の重要管理点 (CCP) と管理基準 (CL) はどのように管理計画されているのか。
- (2) 長期に休業する場合の清掃は休業時定期的におこなっているのか。また営業開始時の衛生点検や防虫防鼠のモニタリングの確認は現在の管理計画に明記され、実行されているのか。
- (3) 防虫防鼠の対策費や衛生管理に必要となる消耗品の費用負担はどこが負担しているのか。
- (4) 重要管理点 (CCP) が正しく管理されているかを適切な頻度でモニタリングを行い、記録しなければならないが、どのような頻度で実施しているのか。また、管理基準 (CL) が逸脱している場合、改善処置を設定しておかなければならないがどのように運用されているのか。
- (5) 給食センター以外の施設も老朽化しており、あらためて給食施設での製造工程図の見直しや、工程ごとの危険要因を把握し、現在の管理手順を見直していく必要があると感じるが、どの様に計画されているのか。

3 給食センターの現状と建設について

- (1) 第5次総合発展計画の前期計画では施設の改善と整備を進めるとありましたが、特に給水管と排水管の劣化が進行していたがその後改善されたのか。
- (2) 本町の施設は老朽化しており、今の施設で現行の制度に基づき、新規で営業の許可申請は難しい。このような状況で給食業務が行われていることをどう思っているのか。
- (3) 後期計画では建設の検討を始めるとあるが、この施設を何年も利用していけるとは思えない。建設について現状での検討状況を伺う。また、あらたに建設する場合は、災害時には防災拠点施設としても活用できる様にするべきと思うが、検討はされているのか。

通告順	議席番号	通告者
3	17	鈴木邦昭

1 地域子ども・子育て支援事業について

- (1) 幼児教育・保育の無償化が一昨年10月より始まった。しかし、幼稚園と同様の教育活動を行っていても、敷地面積が狭いなどの理由で、基準を満たさない「幼児教育・類似施設」は無償化の対象外となっている。本町では現在、幼児教育・類似施設は、何カ所あるのか。
- (2) 幼児教育・類似施設に対し、国が一定の基準を設け、各市町村の任意事業として対象外とされていた類似施設に通う世帯を支援できるよう、本年4月から補助制度が開始されたが、本町では類似施設に通う幼児世帯への支援体制は。

2 本町、小・中学校の洋式トイレについて

- (1) 現在、各小・中学校の洋式トイレの状況は。
- (2) 小・中学校トイレの洋式化について、令和3年度の改修計画は。
- (3) 指定避難場所となる学校の体育館は、すべて多目的トイレに改修すべきと考えるが如何か。
- (4) 各小・中学校の洋式トイレでウオッシュレットなしのトイレがある。各学校洋式トイレすべて、ウオッシュレットにすることについての考えは。
- (5) 文科省では、トイレ改修は1校に対して下限400万円以上に対し補助するとなっているが、事業債で幅広く資金使途が認められている緊急・防災・減災事業債で改修する事に対する考えは。

通告順	議席番号	通告者
4	2	鈴木邦彦

1 WATARI TOWN BAY AREA CONCEPT 事業について

- 広報5月号によって、事業内容が示されたが、以下の点について伺う。
- (1) 15項目の構想が示されたが、具体的な計画は、いつ示されるのか。ま

た、町として15項目の内、優先させたい事業は何か伺う。

- (2) 自主提案事業を行う際の財源の裏付けは。全体事業費は、どれ程になると想定しているのか伺う。
- (3) 施設管理運営事業（予算額28,000千円）において、ワンテーブルが随意契約で行うことだが、何故、地元の雇用（シルバー人材センターの除草作業・トイレ掃除）を切り替えることになったのか伺う。
- (4) 地域おこし協力隊事業の143,000千円の内訳は。また、今後この事業の評価は、いつの段階でどの様に行うのか伺う。
- (5) 今回の事業は、PPP/PFI手法によって行われることだが、亘理町PPP/PFI手法導入優先的検討指針が、令和3年3月にホームページにおいて公表されたが、事前に議会に報告することは何故しなかったのか伺う。
- (6) 今後、具体的にどの様な事業にこの手法を取り入れることを考えているのか伺う。

2 教育委員会・子ども未来課・施設管理課における遊具等安全点検及び利用団体の所有物の取り扱いについて

白石市立第一小学校において、ネット支柱が倒れ児童2人死傷した事故を受けて以下の点について、町の対応について伺う。

- (1) 教育委員会関連（小中学校、生涯学習施設）、子ども未来課関連（保育所、児童館）、都市公園についての安全点検は、どの様に行ったのか伺う。
- (2) 学校、生涯学習施設における利用団体所有物（用具入れ等の物置等）の取り扱いについて、どの様な手続きを取っているのか伺う。

3 公共ゾーン防災広場の目的の明確化と有効活用について

公共ゾーン防災広場にある表示板を見ると、大規模な火事の指定緊急避難場所とある。その隣には、ドクターヘリ離着場とある。また、津波避難情報マップがありますが、必ずしも有効に活用されているとは言えない。そこで、以下の点について伺う。

- (1) 公共ゾーン防災広場の掲示板には、津波/高潮×・洪水/内水氾濫×・土石流×・がけ崩れ地すべり×・大規模な火事○と記載されている。何故大規模な火事の指定緊急避難場所しか活用できないのか。災害用マンホールトイレが設置してあるが、どの様なときに活用するのか。町民の

認知度はどのように考えているのか伺う。

- (2) 様々な町民のニーズ（ウォーキング・ランニング・スケボー・ボール遊び等）に対応できるように活用できないか伺う。

通 告 順	議席番号	通 告 者
5	1	小 野 一 雄

1 コロナ感染防止対策について

コロナ感染防止対策のワクチン接種がはじまり、日常生活にもいくらかの安堵感が漂うが、まだまだ不安が残る。そこで以下について伺う。

- (1) コロナ感染者数がマスコミ報道されるが、発生件数のみで詳細な報道がなく町民として不安が残る。町民としてどのような感染対策を取ればよいのか。
- (2) 町内感染者のマスコミ報道は町民への不安感を助長するばかりで何の効果もない。市町村別のマスコミ報道をやめるよう宮城県に呼び掛けてはどうか。
- (3) 在宅介護者への接種はどのように行うのか。
- (4) ワクチン接種後余ったワクチンはどのように活用するのか。

2 町道橋本堀添線の交通事故防止対策について

東日本大震災復興事業で町道橋本堀添線（802号線・長さ約4kmの南北線）が整備されたが、安全対策について不備が見受けられる。そこで以下について伺う。

- (1) 新しく整備された町道橋本堀添線との交差箇所が8か所あります。橋本堀添線を優先道路として安全対策を講ずるべきではないか。
- (2) 現在、一時停止箇所の仮設標識板を橋本堀添線に設置してあるが県道を除いてすべて反対側に道路に移設すべきではないか。
- (3) 県道38号線と橋本堀添線の分岐点に案内標識を整備してはどうか。